

2018 年度
町田市環境マネジメントシステム
実績報告書

本報告書では、2018 年 4 月から 2019 年 3 月までの町田市環境マネジメントシステムの運用状況と実績を報告します。

目次

I. 2018年度町田市環境マネジメントシステムの運用状況について	1
1. 町田市環境マネジメントシステムの対象とする活動	1
2. 報告対象期間	1
3. 対象範囲	1
4. 運用状況	1
(1) 研修の実施	1
(2) 内部環境監査	2
(3) 外部評価	2
(4) 市長による見直し	2
(5) 情報公開	2
II. 2018年度町田市環境マネジメントシステムの実績について	3
(1) 温室効果ガス・エネルギー 評価点：3	5
(2) 資源（廃棄物・紙） 評価点：2	16
(3) グリーン購入達成率 評価点：2	18
(4) エコオフィス活動 ①共通の取り組み 評価点：4	21
(4) エコオフィス活動 ②施設を管理する部署の取り組み 評価点：4	22

I. 2018年度町田市環境マネジメントシステムの運用状況について

1. 町田市環境マネジメントシステムの対象とする活動

「町田市第4次環境配慮行動計画」(以下、第4次実行計画)に基づき設定された年度目標達成のためのエコオフィス活動及び施設管理計画に基づく温室効果ガス削減の取り組み

2. 報告対象期間

2018年4月～2019年3月

3. 対象範囲

市の全施設(指定管理施設を含む)、市の全職員

4. 運用状況

(1) 研修の実施

① 集合研修

4月11日(水)、6月21日(木)、6月26日(火)、6月27日(水)、7月3日(火)7月5日(木)の6日間で、内部環境監査員、新任の管理職、環境推進員、庁舎管理責任者及び新入職員を対象に町田市環境マネジメントシステム研修を実施し、合計321名が出席しました。欠席者に対し、別日程での参加や代理出席を促した結果、2017年度より高い受講率となりました。

	対象者	出席	欠席	出席率 ()は2017年度
内部環境監査員	20名	19名	1名	95.0%(95.0%)
新任管理職	24名	24名	0名	100.0%(100.0%)
環境推進員	99名	96名	3名	97.0%(95.5%)
庁舎管理責任者	112名	104名	8名	92.9%(88.2%)
新入職員研修	78名	78名	0名	100.0%(-)
合計	333名	321名	12名	96.4%(92.2%)

② e - ラーニング研修

全職員を対象としたe - ラーニング研修^{*}を前期、後期の計2回実施しました。設問は、環境問題や町田市役所の目標や実績、市職員が取り組むべき活動等、特に職員に周知が必要な事項を中心とし、毎年、内容を変えています。

実施率	2018年度	2017年度
学校以外	99.0%	98.0%
学校	92.0%	77.0%

^{*}パソコンを使用した学習形態。町田市では、各職員が環境配慮行動やEMSに関わるクイズ形式の問題に回答する形で研修を実施しています。

(2) 内部環境監査

7月6日(金)から7月20日(金)にかけて過去の内部環境監査で監査対象となっていない課・施設を中心に10施設、小中学校から10校を環境管理責任者が選定し、定期内部環境監査を実施しました。

この監査において不適合または改善事項と判定された事項を有する10部署に対しては2019年1月28日(月)から2月8日(金)にフォローアップ内部環境監査を実施しました。

(3) 外部評価

2017年度の活動に対する評価として、2018年6月から8月にかけて計3回、市民や事業者、学識経験者計11名で構成された外部評価委員会による環境マネジメントシステム外部評価が実施されました。

評価の対象としては「環境パフォーマンス(温室効果ガス排出量、エネルギー使用量、廃棄物排出量等のパフォーマンス)」および「環境活動状況(各職場におけるエコオフィス活動、内部環境監査結果および活動状況)」の2点です。

(4) 市長による見直し

環境マネジメントシステムの運用実績および内部環境監査結果ならびに外部評価結果を市長に報告し、環境マネジメントシステム全体に対する見直しを実施しました。

(5) 情報公開

町田市環境マネジメントシステムは、透明性の確保と市民に対する説明責任を果たすため、内部監査結果および外部評価結果を含む詳細な運用実績を町田市ホームページや町田市環境白書で開示しています。

町田市ホームページでは、「トップページ」>「暮らし」>「ごみ・環境」>「環境」>「計画・会議」>「第四次環境配慮行動計画」>「町田市環境マネジメントシステム」から確認していただけます。町田市環境白書(活動報告)は、市庁舎や市民センター等で配布しています。

また、市民から広く意見を得るため、ホームページ上に意見を送付するメールフォームを設置しています。

Ⅱ. 2018 年度町田市環境マネジメントシステムの実績について

2018 年度の町田市環境マネジメントシステムについて、以下の 5 つの活動テーマを実績に基づいて 5 段階で評価しました（下表参照）。

第 4 次実行計画の実績（市役所の環境活動）として

- (1) 【温室効果ガス・エネルギー】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 評価点 3
- (2) 【資源（廃棄物・紙）】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 評価点 2
- (3) 【グリーン購入達成率】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 評価点 2
- (4) 【エコオフィス活動（共通の取り組み）】・・・・・・・・・・ 評価点 4
- (5) 【エコオフィス活動（施設の管理担当部署の取り組み）】・・・ 評価点 4

この実績評価および 2017 年度比較をしたのが次ページのグラフ（図 1）です。

「温室効果ガス・エネルギー」は、2017 年度と同等の結果となりました。

「資源」の紙購入量および「グリーン購入達成率」は、2018 年度から集計手法を変更^{*}したことから、比較評価することは適切ではありません。

「エコオフィス活動」は、2017 年度から引き続き良好な取り組み状況となっています。

それぞれの実績の詳細は、5 ページ以降に記載します。

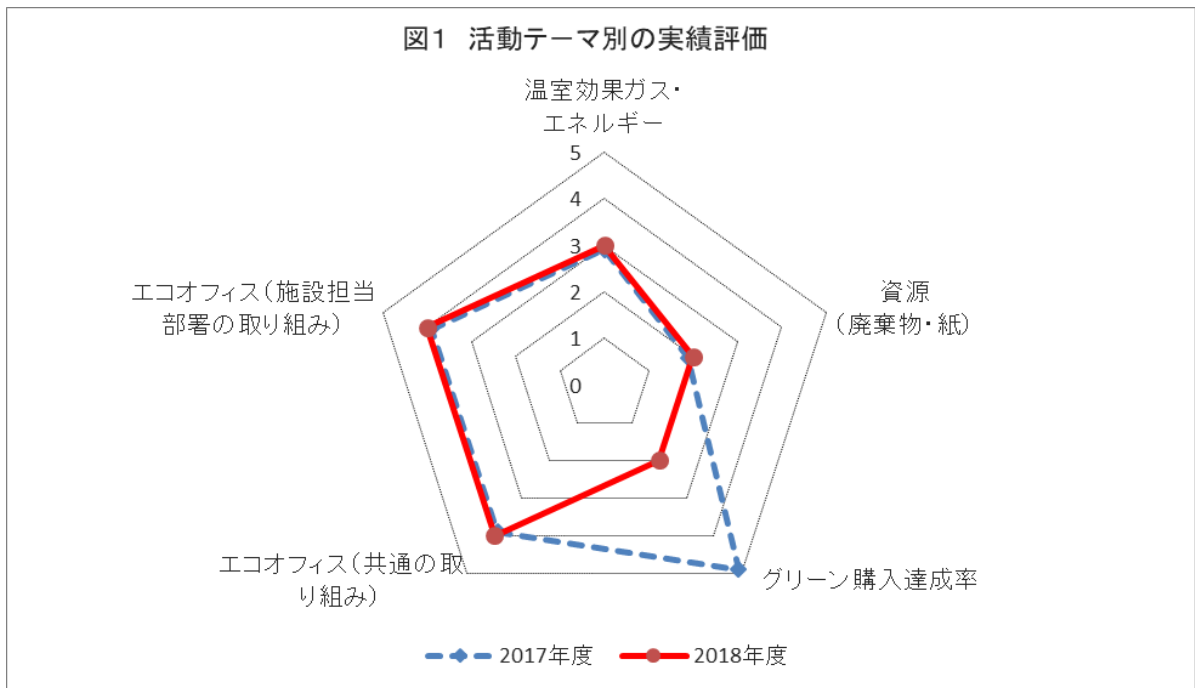
※紙購入量及びグリーン購入率の集計手法の変更について

① 紙購入量

2018 年度に稼働した新財務会計システムについては、更改時に物品購入の管理を組み込むものとなりました。2017 年度までは一般的なコピー用紙以外の色紙やコート紙等の購入量も含めて把握してきましたが、新財務会計システムでは、市役所全体で単価契約している物品（コピー用紙等）以外の総購入量の抽出ができないため、集計対象を一般的なコピー用紙（A3、A4、B4、B5）のみに変更しました。

② グリーン購入達成率

新財務会計システムでは、物品購入時に当該契約がグリーン購入か否かなどを必須選択項目とすることとしました。それに伴い、集計単位を「グリーン購入した物品の数量」から「契約件数」に変更することとしました。なお、システム非導入職場（小中学校）もあるため、導入職場と非導入職場は別々に集計及び分析を行います。



※資源及びグリーン購入達成率は 2018 年度より集計手法が異なるため、2017 年度実績は参考として示します

5 つの活動テーマの評価基準

	評価対象	評価基準					評価結果			
		5	4	3	2	1	2017年度		2018年度	
							実績	評価点	実績	評価点
温室効果ガス・エネルギー	2015年比増減率	-6%以上	-3%以上 -6%未満	±0%以上 -3%未満	±0%超 +3%未満	+3%以上	-1.0%	3	-0.5%	3
資源 (廃棄物・紙)	2015年比増減率	-10%以上	-5%以上 -10%未満	±0%以上 -5%未満	±0%超 +5%未満	+5%以上	(2.7%)	(2)	3.3%	2
グリーン購入達成率	購入率	95%以上	95%未満 90%以上	90%未満 85%以上	85%未満 80%以上	80%未満	(95.6%)	(5)	83.5%	2
エコオフィス(共通の取り組み)	活動別評価の平均	4.8以上	4.8未満 4.2以上	4.2未満 3.6以上	3.6未満 3.0以上	3.0未満	4.3	4	4.3	4
エコオフィス(施設担当部署の取り組み)	活動別評価の平均	95%以上	95%未満 90%以上	90%未満 85%以上	85%未満 80%以上	80%未満	92.6%	4	92.4%	4

※資源及びグリーン購入達成率は 2018 年度より集計手法が異なるため、2017 年度実績は参考として () で示します

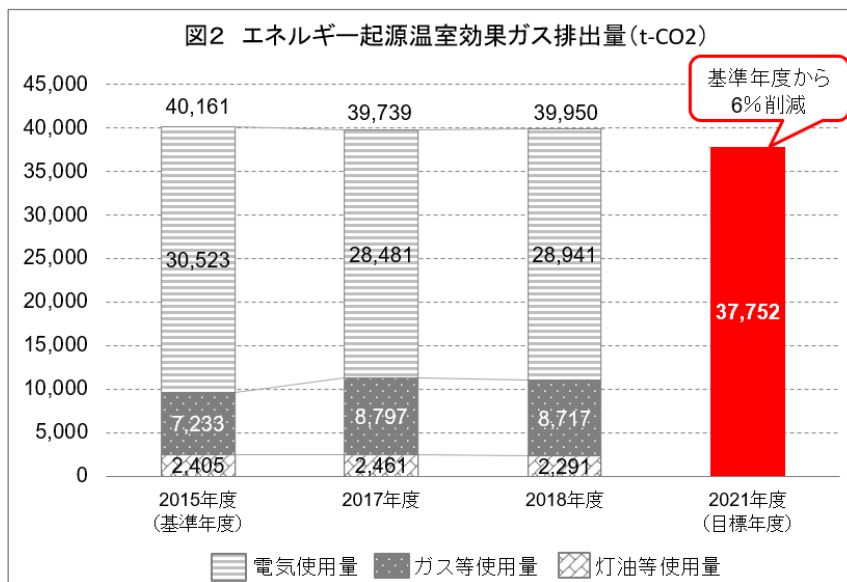
(1) 温室効果ガス・エネルギー 評価点：3

① 全体目標の進捗

目標値：温室効果ガス総排出量

第4次実行計画では、主に職員の事務事業活動における電気・都市ガス・燃料等の使用から算出されるエネルギーを起源とする温室効果ガス排出量について、2021年度までに2015年度比で6%以上削減することを目標に掲げています。

2018年度の温室効果ガス排出量は39,950t-CO₂で、2015年度と比較して0.5%減少しました。エネルギーを起源とする温室効果ガス排出量の詳細は(図2)のとおりです。

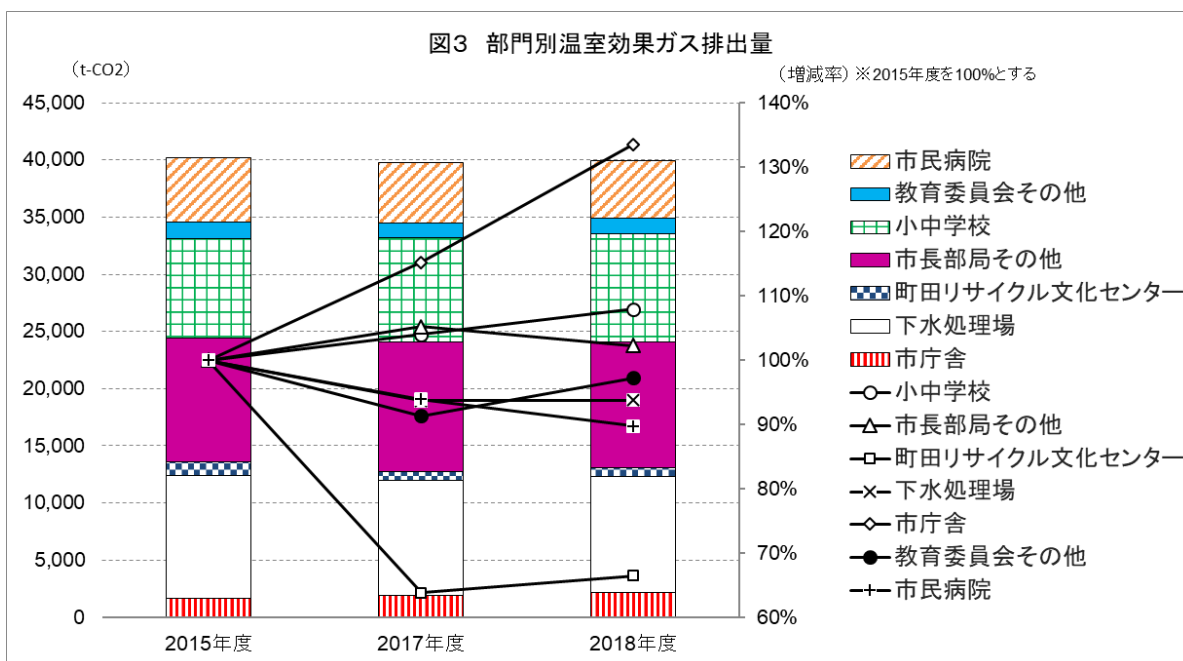


② 個別目標の進捗

目標値：温室効果ガス排出量

第4次実行計画では、全体目標を達成するため、個別目標として主要排出部門(省エネ法に基づき分類)における温室効果ガス排出量の目標値を定めています。

2018年度は、2015年度と比較して市庁舎、市長部局のその他の施設、小中学校で増加しました。温室効果ガス排出量の詳細は、(図3)のとおりです。



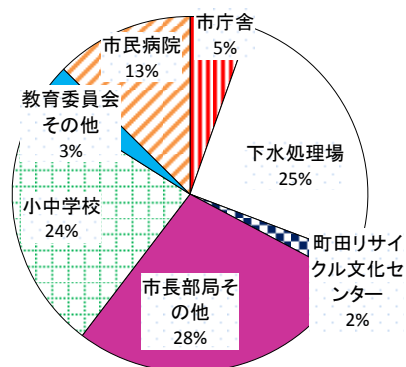
【部門別温室効果ガス排出量(単位:t-CO2)】

	2015年度	2017年度	2018年度	目標値
市庁舎	1,626	1,873	2,170	1,496
下水処理場	10,785	10,102	10,113	10,504
町田リサイクル文化センター	1,197	764	796	1,078
市長部局その他	10,792	11,355	11,035	10,122
小中学校	8,745	9,096	9,434	8,128
教育委員会その他	1,417	1,294	1,378	1,327
市民病院	5,599	5,256	5,025	5,097
合計	40,161	39,739	39,950	37,752

【2015年度を100とした時の増減比】

	2015年度	2017年度	2018年度	目標率
市庁舎	100%	115%	133%	92%
下水処理場	100%	94%	94%	97%
町田リサイクル文化センター	100%	64%	66%	90%
市長部局その他	100%	105%	102%	94%
小中学校	100%	104%	108%	93%
教育委員会その他	100%	91%	97%	94%
市民病院	100%	94%	90%	91%
合計	100.0%	98.9%	99.5%	94.0%

2018年度部門別温室効果ガス排出量割合



参考

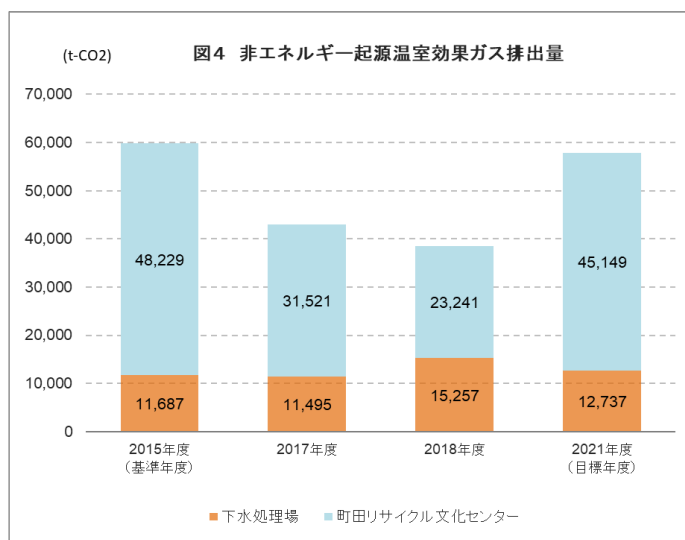
<非エネルギー起源の温室効果ガス排出量について>

第4次実行計画では、市域全体の一般廃棄物焼却や下水処理を起源とする温室効果ガス（非エネルギー起源）は、職員の事務活動から算出される温室効果ガス（エネルギー起源）と分けて整理をしています。

非エネルギー起源の温室効果ガスは事業計画等により管理をおこなっており、ここでは実績を紹介いたします。

2018年度の非エネルギー起源温室効果ガス排出量は、2015年度から36%減少しました。一般廃棄物中のプラスチックごみの量が減少したことが大きな要因となっています。

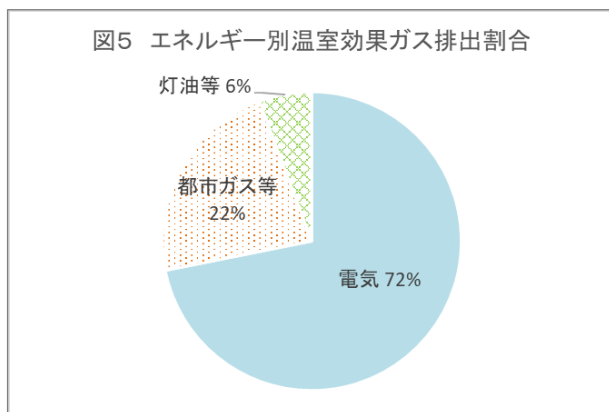
図4 非エネルギー起源温室効果ガス排出量



③ 活動目標の進捗

目標値：エネルギー使用量

温室効果ガス排出量をエネルギー別に見ると、電気が約72%、都市ガス等が約22%、灯油等が約6%となっています。



ア 部別エネルギー使用量の状況

第4次実行計画では、部別にエネルギー使用量の目標を定めています。

2018年度までの部別の電気、都市ガス等、灯油等のエネルギーの状況と、各エネルギーの合計を以下に示します。

	目標率	基準年度(2015年度)比 増減率							施設数 基準年度	施設数 2018年度
		エネルギー 合計※	電気		都市ガス等		灯油等			
			2018年度	2017年度	2018年度	2017年度	2018年度	2017年度		
財務部	-8%	5%	0%	1%	1%	34%	9%	17%	1	1
防災安全部	-2%	-9%	7%	-3%	-	-	-10%	-26%	47	43
市民部	-7%	2%	3%	-3%	29%	33%	-68%	-93%	22	21
文化スポーツ振興部	-8%	2%	6%	-9%	19%	46%	19%	19%	12	22
地域福祉部	-5%	-5%	-2%	-3%	-16%	-22%	46%	41%	12	12
いきいき生活部	-4%	-4%	5%	0%	1%	-4%	-9%	-15%	16	16
保健所	-6%	0%	2%	3%	-10%	-14%	-	-	3	2
子ども生活部	-5%	16%	12%	24%	18%	6%	22%	4%	58	60
経済観光部	-7%	-18%	-14%	-23%	3%	10%	-8%	-17%	10	12
環境資源部	-9%	-24%	-34%	-37%	66%	58%	-3%	-4%	8	8
道路部	-3%	9%	14%	11%	16%	-1%	2%	-7%	20	23
都市づくり部	-6%	2%	6%	2%	0%	1%	14%	15%	54	55
下水道部	-3%	0%	-2%	1%	-18%	-37%	12%	9%	3	3
学校教育部(小中学校)	-7%	11%	10%	10%	23%	19%	-20%	-54%	62	62
学校教育部(その他)	-7%	-11%	-3%	-2%	14%	38%	-52%	-96%	4	3
生涯学習部	-6%	2%	2%	0%	7%	23%	-90%	-100%	14	15
市民病院	-9%	-7%	-34%	-37%	42%	38%	-23%	-13%	2	2

※原油単位当たりの発熱量を用い、電気、都市ガス等、灯油等のエネルギーの総計から算出。

エネルギー合計で増加が大きい子ども生活部では、2015年度に子どもセンターばお分館、2016年度に子どもセンターまあち、2017年度に木曽子どもクラブ、2018年度にも1施設と、2015年度以降施設が増加しています。同様に道路部においても、南町田駅北口地下自転車駐車場等、2015年度以降の整備によりエネルギー使用量が増加しています。

その他、市民部は成瀬コミュニティセンター、文化スポーツ振興部は国際版画美術館で2015年度中に休館期間があった影響で、基準年度と比較した増減率が大きくなっています。

参考

【各部所管の主な施設】

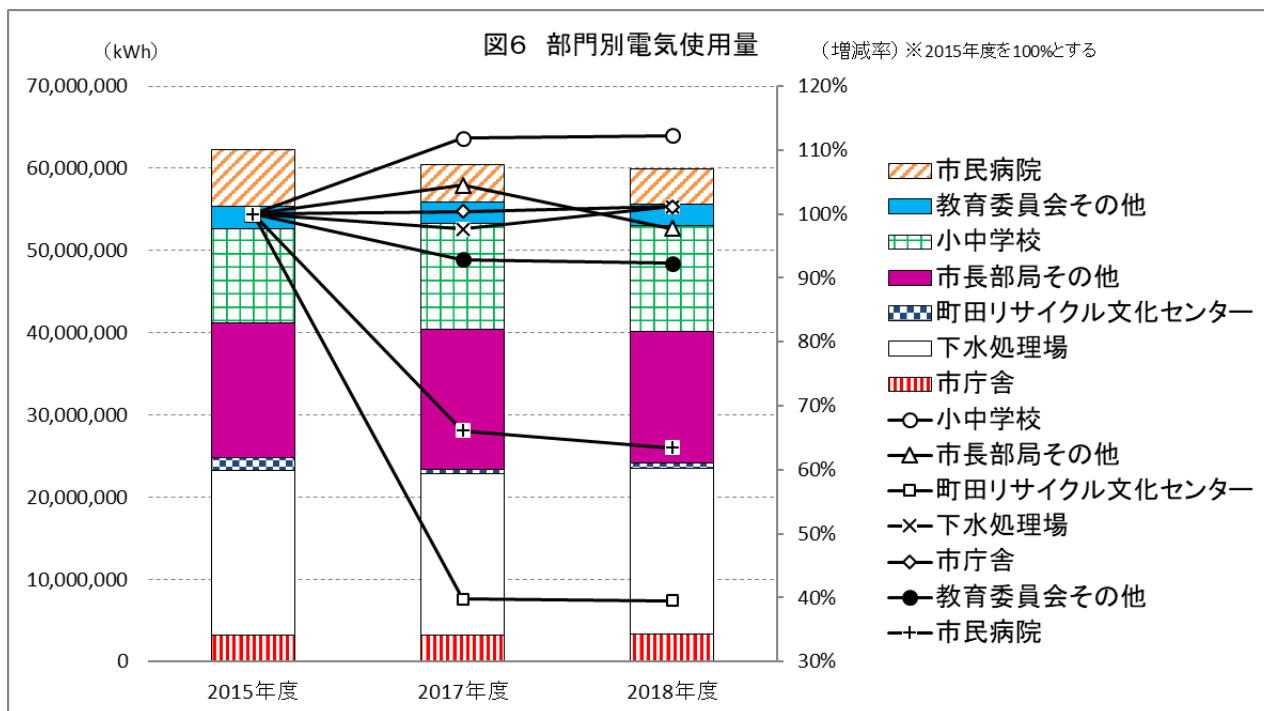
財務部・・・・・・・・市庁舎
防災安全部・・・・・・・・防災備蓄倉庫
市民部・・・・・・・・市民センター
文化スポーツ振興部・・・体育館、プール、ホール
地域福祉部・・・・・・・・障がい者福祉センター（ひかり療育園）
いきいき生活部・・・・・・・・高齢者福祉センター
保健所・・・・・・・・保健所
子ども生活部・・・・・・・・子どもセンター、子どもクラブ
経済観光部・・・・・・・・町田ターミナルプラザ、文化交流センター
環境資源部・・・・・・・・清掃工場（町田リサイクル文化センター）
道路部・・・・・・・・駅エスカレーター、土木・公園サービスセンター
都市づくり部・・・・・・・・公園（陸上競技場等スポーツ施設を一部含む）
下水道部・・・・・・・・下水処理場
学校教育部・・・・・・・・小中学校
生涯学習部・・・・・・・・図書館
市民病院・・・・・・・・市民病院

イ エネルギー別使用量の状況

○電気使用量

2018年度は、全体で2015年度比4%減少し、2017年度からは1%減少しました。

町田リサイクル文化センターでは、工場の建て替え工事に伴い、管理棟などの解体を行い設備負荷が低減した影響で、2015年度比で60%減少しました。市民病院では、ガスから電気と熱を同時に作り出すコージェネレーションシステムを2017年度から稼働したため、2015年度比で37%減少しました。

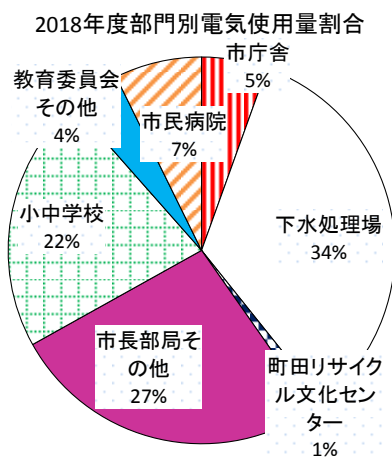


【部門別電気使用量(単位:kWh)】

	2015年度	2017年度	2018年度
市庁舎	3,255,482	3,269,518	3,292,888
下水処理場	19,999,364	19,526,358	20,235,092
町田リサイクル文化センター	1,563,298	621,413	617,978
市長部局その他	16,326,731	17,059,026	15,959,029
小中学校	11,513,356	12,882,095	12,930,569
教育委員会その他	2,750,416	2,555,596	2,538,400
市民病院	6,885,058	4,552,191	4,366,132
合計	62,293,704	60,466,198	59,940,088

【2015年度を100とした時の増減比】

	2015年度	2017年度	2018年度
市庁舎	100%	100%	101%
下水処理場	100%	98%	101%
町田リサイクル文化センター	100%	40%	40%
市長部局その他	100%	104%	98%
小中学校	100%	112%	112%
教育委員会その他	100%	93%	92%
市民病院	100%	66%	63%
合計	100%	97%	96%



部別電気使用量の推移 (kWh)

	2015年度 (基準年度)	2017年度	2018年度	2017年度比 増減率	基準年度比 増減率	2021年度 (目標年度)	目標率
財務部	3,255,482	3,269,518	3,292,888	1%	1%	2,995,043	-8%
防災安全部	86,657	93,097	84,420	-9%	-3%	84,924	-2%
市民部	2,254,790	2,332,259	2,187,306	-6%	-3%	2,099,421	-7%
文化スポーツ振興部	5,055,543	5,379,337	4,578,794	-15%	-9%	4,671,384	-8%
地域福祉部	660,351	647,830	637,435	-2%	-3%	627,967	-5%
いきいき生活部	1,160,260	1,213,820	1,162,113	-4%	0%	1,112,225	-4%
保健所	428,942	436,134	439,951	1%	3%	402,489	-6%
子ども生活部	1,671,285	1,879,889	2,079,941	11%	24%	1,599,073	-5%
経済観光部	1,538,245	1,316,674	1,190,872	-10%	-23%	1,423,722	-7%
環境資源部	2,471,678	1,639,154	1,568,299	-4%	-37%	2,260,538	-9%
道路部	531,427	606,048	589,184	-3%	11%	516,519	-3%
都市づくり部	1,794,785	1,903,144	1,839,115	-3%	2%	1,694,656	-6%
下水道部	20,236,443	19,759,411	20,454,670	4%	1%	19,710,295	-3%
学校教育部(小中学校)	11,725,031	12,882,095	12,930,569	0%	10%	10,899,266	-7%
学校教育部(その他)	573,034	556,518	563,419	1%	-2%	534,741	-7%
生涯学習部	1,965,707	1,999,078	1,974,981	-1%	0%	1,842,642	-6%
市民病院	6,885,058	4,552,191	4,366,132	-4%	-37%	6,269,054	-9%
合計値	62,294,717	60,466,198	59,940,088	-1%	-4%	58,743,958	

参考

<電気使用に伴う CO2 排出量について>

電気の使用に伴う CO2 排出量は、電気事業者ごとの「排出係数」に基づき算出します。

(CO2 排出量＝電気使用量×排出係数)

<町田市の電力契約の現状>

町田市では、市有施設の電力調達において、競争入札に付して契約を締結する場合、契約時の CO2 排出係数が代替値*未満の事業者であることを、入札参加の条件とすることで環境に配慮しています。

*代替値：環境省が示している過去 5 年の平均排出係数。排出量が把握できない事業者に対して代替するために用います。

町田市が競争入札で契約している施設と、過去 3 ヶ年の CO2 排出係数は以下のとおりです。

		2016年度		2017年度		2018年度	
市庁舎	契約月	4月～11月	12月～3月	4月～11月	12月～3月	4月～11月	12月～3月
	事業者	F-Power	東京電力	東京電力	シナネン	シナネン	東京電力
	排出係数 (kg-CO2)	0.358	0.491	0.474	0.449	0.571	0.462
町田リサイクル文化センター	契約月	4月～3月		4月～2月	3月	4月～2月	3月
	事業者	エネット		エネット	F-Power	F-Power	エネサーブ
	排出係数 (kg-CO2)	0.441		0.441	0.467	0.513	0.645
忠生市民センター ほか10施設	契約月	4月～1月	2月～3月	4月～1月	2月～3月	4月～1月	2月～3月
	事業者	東京電力	丸紅新電力	丸紅新電力	F-Power	F-Power	東京電力
	排出係数 (kg-CO2)	0.491	0.493	0.485	0.467	0.513	0.462
小・中学校	契約月	4月～3月		4月～2月	3月	4月～2月	3月
	事業者	東京電力		東京電力	F-Power	F-Power	東京電力
	排出係数 (kg-CO2)	0.491		0.474	0.467	0.513	0.462
代替値		0.587		0.512		0.512	

※市民センターの競争入札で契約している施設は各年度で追加があり、2018年度の入札から 11 施設で契約しています。

※町田リサイクル文化センターが 2018 年度に契約しているエネサーブは、開札時点の排出係数は 0.50 で代替値未満でした。

契約している事業者のなかには、排出係数が代替値以上となっているものがありますが、競争入札の開札日時点では代替値未満でした。国が排出係数を公表する時期は、当該年度のおおむね 12 月下旬であることから、結果的に排出係数が代替値以上となることが起こり得ます。

競争入札により契約している施設の電気使用量は、市有施設全体の電気使用量の約 3 割程度であり、小規模施設を含む多くの施設では、各課・各施設で随意契約を行っています。随意契約については、環境配慮の視点で統一したルールはありませんでした。

契約方法	契約における環境配慮等	該当施設	市全体における電気使用量の割合
条件付 一般競争入札 (契約課契約)	【入札参加条件】 CO2 排出係数の実績値が代替値未満であること	市庁舎	6%
		町田リサイクル文化センター	1%
		忠生市民センターほか 10 施設	2%
		町田市立小・中学校	22%
			計 31%
随意契約 (各課契約)	事業者選定時に 統一的な配慮は行 っていない	市長部局施設（市民センター除く） 教育委員会その他 ※指定管理者制度導入施設含む	25%
			3%
	電力安定供給 への配慮によ る随意契約	下水処理場 町田市民病院（コージェネレーショ ンシステム導入により電力減）	34%
			7%
			計 69%

< 電力調達に係る環境配慮契約の拡充 >

随意契約についても、2019 年度から、原則 CO2 排出係数が代替値よりも低い事業者と契約することとします。これにより、電気使用での CO2 排出量削減のさらなる推進を図ります。

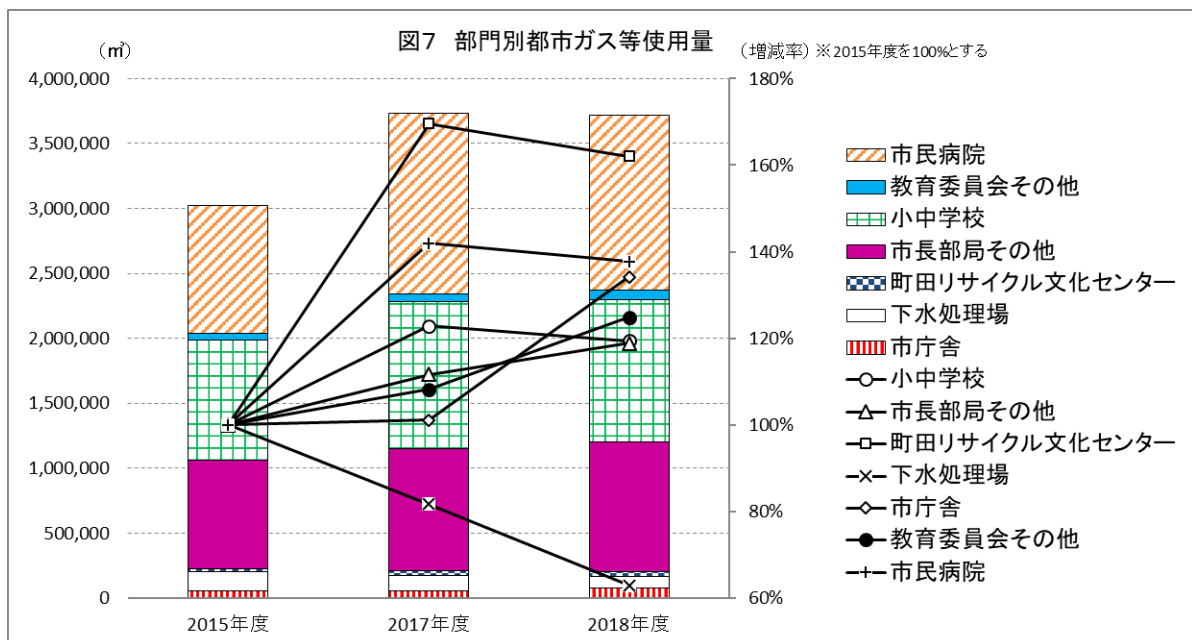
○都市ガス等の使用量（都市ガス、液化石油ガス、天然ガス）

2018年度は、全体で2015年比24%増加し、2017年度比は0.3%減少となりました。

町田リサイクル文化センターでは、工場の建て替え工事に伴い、2016年度に仮設管理棟への移転を行いました。シャワー室の設備に、旧管理棟では蒸気利用をしていたところ、移転先では給湯設備を使用しているため、2015年度比で62%増加しました。市民病院では、2017年度からコージェネレーションシステムを稼働したため、2015年度比で38%増加しました。なお、このシステムの稼働により、電気使用量は減少しており、市民病院のエネルギー全体の使用量は7%減少しました。市庁舎では、梅雨明けが早く猛暑であった夏季の空調使用量が增大し、2015年度比で34%増加しました。小中学校では、2016年度から特別教室への空調導入を進めているため、ガス使用量が2015年度比で23%増加していますが、2017年度からは4%削減しました。

一方、下水処理場では、焼却するケーキ*の含水率が低かったことや2018年度は焼却炉の長期停止が少なく、炉内温度が高い状態で処理を開始することが多かったことから焼却燃料として使用するガスの使用量が2015年度比で37%減少しました。

*下水処理場で粘土や汚泥を脱水した後に残る固形の物質

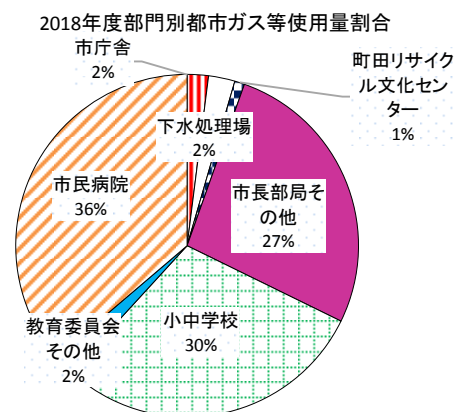


【部門別都市ガス等使用量(単位:m³)】

	2015年度	2017年度	2018年度
市庁舎	55,590	56,189	74,571
下水処理場	147,156	120,190	92,681
町田リサイクル文化センター	21,463	36,398	34,792
市長部局その他	838,944	936,379	997,368
小中学校	920,084	1,130,120	1,099,147
教育委員会その他	58,164	62,916	72,618
市民病院	978,378	1,388,484	1,347,646
合計	3,019,778	3,730,676	3,718,824

【2015年度を100とした時の増減比】

	2015年度	2017年度	2018年度
市庁舎	100%	101%	134%
下水処理場	100%	82%	63%
町田リサイクル文化センター	100%	170%	162%
市長部局その他	100%	112%	119%
小中学校	100%	123%	119%
教育委員会その他	100%	108%	125%
市民病院	100%	142%	138%
合計	100%	124%	123%



部別都市ガス等使用量の推移 (m³)

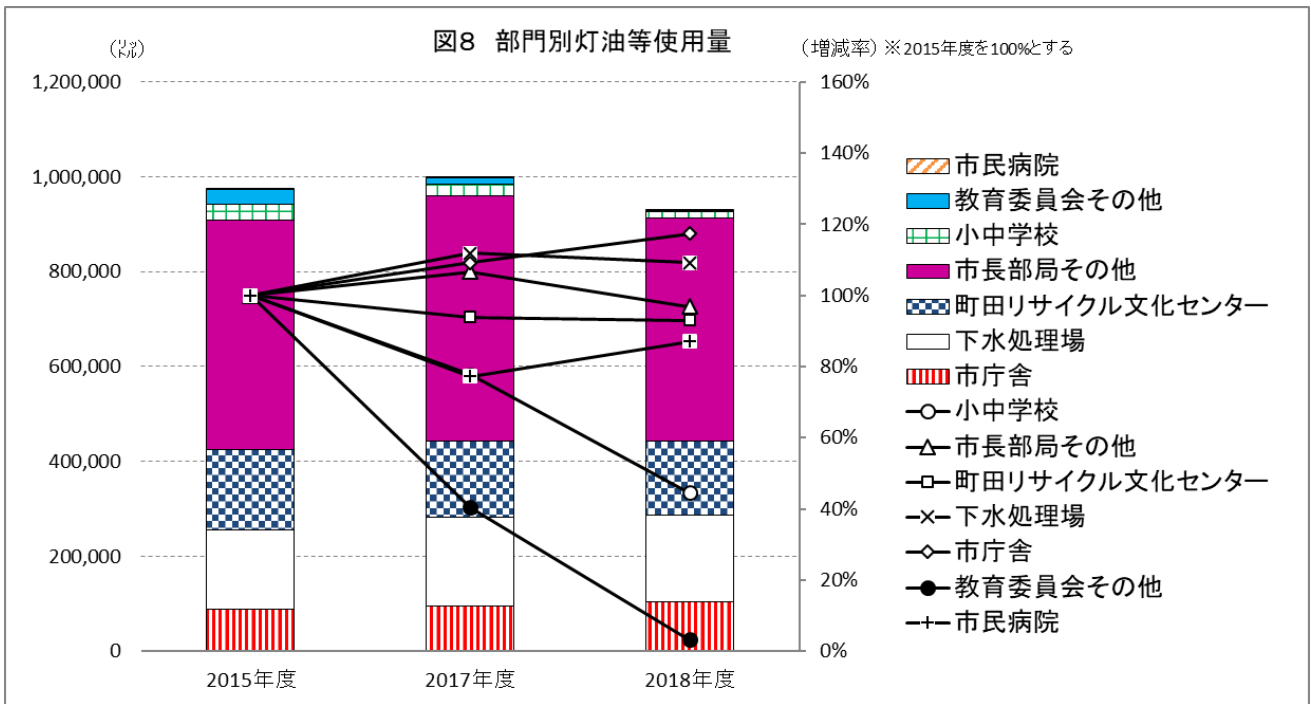
	2015年度 (基準年度)	2017年度	2018年度	2017年度比 増減率	基準年度比 増減率	2021年度 (目標年度)	目標率
財務部	55,590	56,189	74,571	33%	34%	51,143	-8%
防災安全部	0	0	0	-	-	0	-2%
市民部	106,640	137,284	141,740	3%	33%	99,521	-7%
文化スポーツ振興部	286,884	342,042	419,688	23%	46%	264,366	-8%
地域福祉部	71,704	60,105	56,187	-7%	-22%	67,366	-5%
いきいき生活部	93,114	94,478	89,461	-5%	-4%	88,893	-4%
保健所	21,278	19,104	18,264	-4%	-14%	20,102	-6%
子ども生活部	124,179	146,240	131,249	-10%	6%	118,863	-5%
経済観光部	55,554	57,211	61,034	7%	10%	51,359	-7%
環境資源部	22,491	37,252	35,520	-5%	58%	20,276	-9%
道路部	1,007	1,169	994	-15%	-1%	936	-3%
都市づくり部	77,556	77,893	78,024	0%	1%	72,128	-6%
下水道部	147,156	120,190	92,681	-23%	-37%	143,330	-3%
学校教育部(小中学校)	920,084	1,130,120	1,099,147	-3%	19%	854,770	-7%
学校教育部(その他)	8,264	9,459	11,389	20%	38%	7,689	-7%
生涯学習部	49,900	53,457	61,229	15%	23%	46,617	-6%
市民病院	978,378	1,388,484	1,347,646	-3%	38%	890,330	-9%
合計値	3,019,778	3,730,676	3,718,824	0%	23%	2,797,689	

○灯油等の使用量（ガソリン、灯油、軽油、A重油※）

2018年度は、全体で2015年度比5%減少し、2017年度からは7%減少しました。

小中学校では灯油ストーブから空調設備に更新したため2015年度比で55%減少しました。教育委員会その他（生涯学習部）では、施設の更新工事によって2015年度比で97%減少しました。市庁舎では、一部の車両燃料が天然ガスからガソリン・軽油に変更となったことなどにより増加しました。

※軽油の一種。主に下水処理場で、発電機のエンジンの燃料として使用している

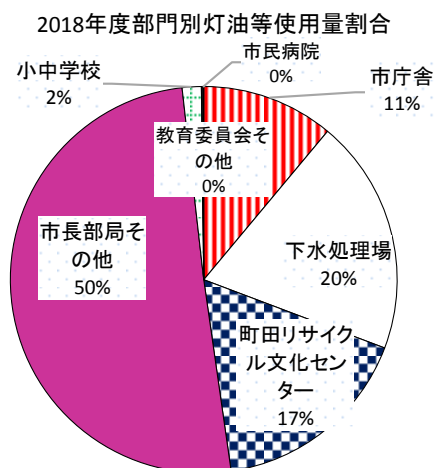


【部門別灯油等使用量(単位: ㍑)】

	2015年度	2017年度	2018年度
市庁舎	87,621	95,733	102,793
下水処理場	167,664	187,595	183,002
町田リサイクル文化センター	169,723	159,324	157,927
市長部局その他	484,313	516,434	469,129
小中学校	33,340	25,881	14,849
教育委員会その他	30,768	12,407	974
市民病院	952	735	828
合計	974,380	998,109	929,502

【2015年度を100とした時の増減比】

	2015年度	2017年度	2018年度
市庁舎	100%	109%	117%
下水処理場	100%	112%	109%
町田リサイクル文化センター	100%	94%	93%
市長部局その他	100%	107%	97%
小中学校	100%	78%	45%
教育委員会その他	100%	40%	3%
市民病院	100%	77%	87%
合計	100%	102%	95%



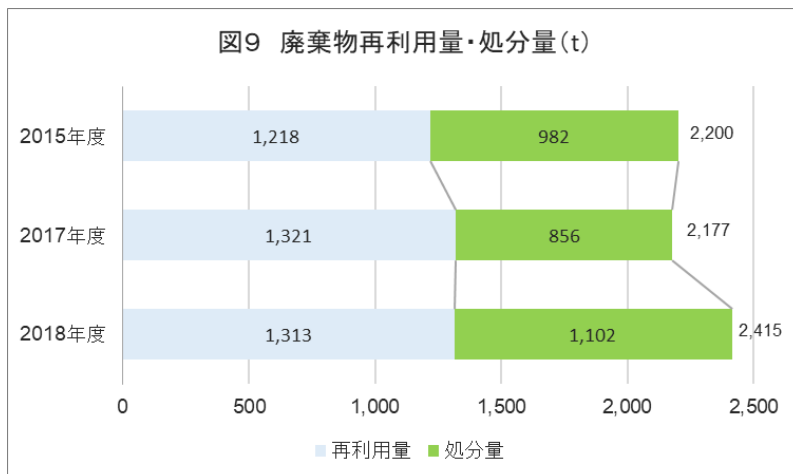
部別灯油等使用量の推移 (リットル)

	2015年度 (基準年度)	2017年度	2018年度	2017年度比 増減率	基準年度比 増減率	2021年度 (目標年度)	目標率
財務部	87,621	95,733	102,793	7%	17%	80,611	-8%
防災安全部	7,634	6,876	5,628	-18%	-26%	7,481	-2%
市民部	13,078	4,151	875	-79%	-93%	11,811	-7%
文化スポーツ振興部	854	1,015	1,014	0%	19%	800	-8%
地域福祉部	25,969	37,997	36,498	-4%	41%	25,317	-5%
いきいき生活部	115,517	105,386	98,020	-7%	-15%	111,317	-4%
保健所	0	0	0	-	-	0	-6%
子ども生活部	168,858	206,587	176,219	-15%	4%	157,068	-5%
経済観光部	216	198	180	-9%	-17%	212	-7%
環境資源部	292,847	283,085	280,097	-1%	-4%	267,256	-9%
道路部	21,369	21,855	19,766	-10%	-7%	19,873	-3%
都市づくり部	7,522	8,594	8,628	0%	15%	7,291	-6%
下水道部	167,838	187,609	183,133	-2%	9%	163,474	-3%
学校教育部(小中学校)	32,515	25,881	14,849	-43%	-54%	30,238	-7%
学校教育部(その他)	24,182	11,657	974	-92%	-96%	22,500	-7%
生涯学習部	7,411	750	0	-100%	-100%	7,098	-6%
市民病院	952	735	828	13%	-13%	866	-9%
合計値	974,380	998,109	929,502	-7%	-5%	913,213	

(2) 資源(廃棄物・紙) 評価点: 2

① 廃棄物排出量

2018年度の廃棄物排出量は2,415 tとなり(一部未計上施設あり)、2015年度と比較して9.8%増加しています。玉川学園コミュニティセンターの建て替えや、サン町田旭体育館(指定管理施設)の業者変更による設備入れ替えで、大量の廃棄物が出たことが主な要因となっています。再利用率は54.4%で、2015年度から1%低下しています。



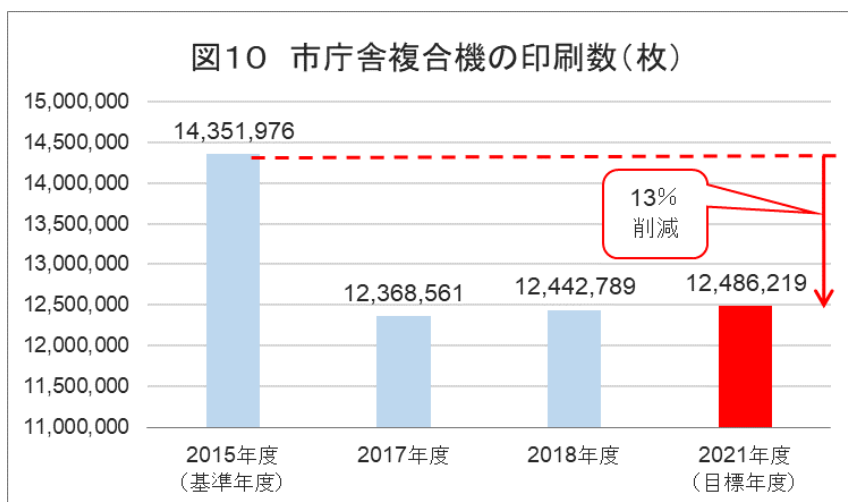
	廃棄物排出量(t)		
	再利用量	処分量	排出量
2015年度	1,218 (55.4%)	982 (44.6%)	2,200
2017年度	1,321 (60.7%)	856 (39.3%)	2,177
2018年度	1,313 (54.4%)	1,102 (45.6%)	2,415

()は廃棄物排出量に対する割合

② 紙購入量

ア 市庁舎複合機の使用量

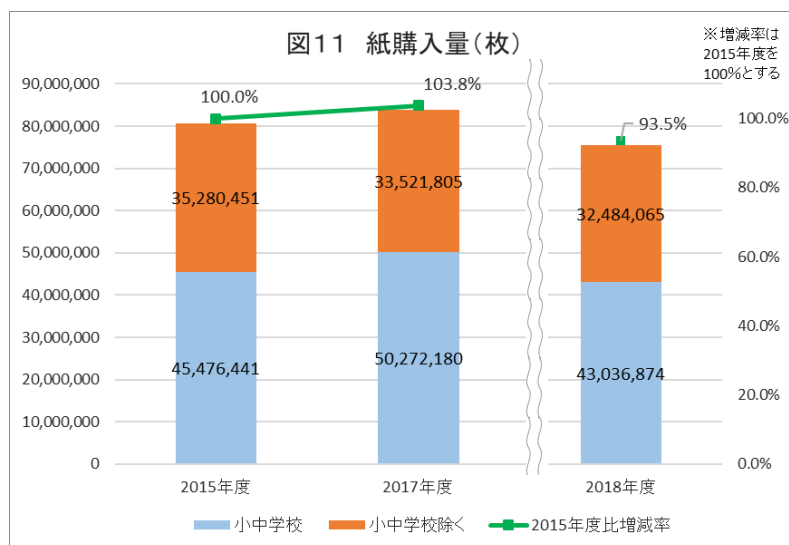
市庁舎複合機の使用量については、2021年度までに2015年度比13%削減の目標を定めています。2018年度は、2015年度に対し13%削減しています。削減の要因としては、冊子の印刷数縮減やタブレットを使用した電子会議の普及など、職員の紙削減意識の向上が考えられます。



	複合機印刷数(枚)	2015年度増減率
2015年度(基準年度)	14,351,976	-
2017年度	12,368,561	-14%
2018年度	12,442,789	-13%
2021年度(目標年度)	12,486,219	-13%

イ 紙購入量

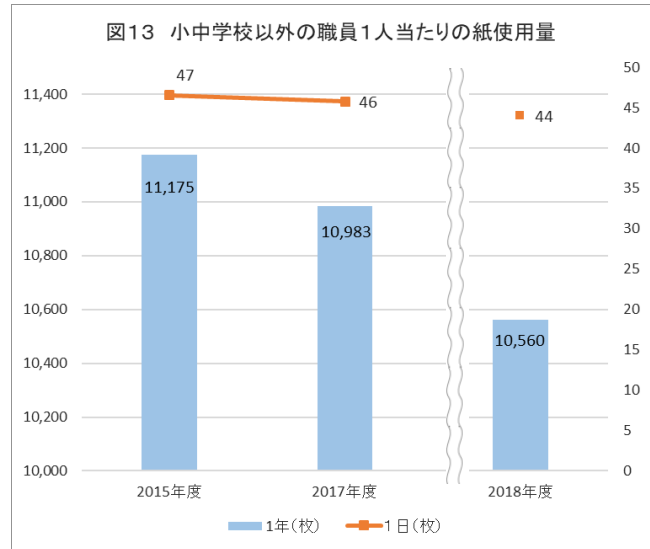
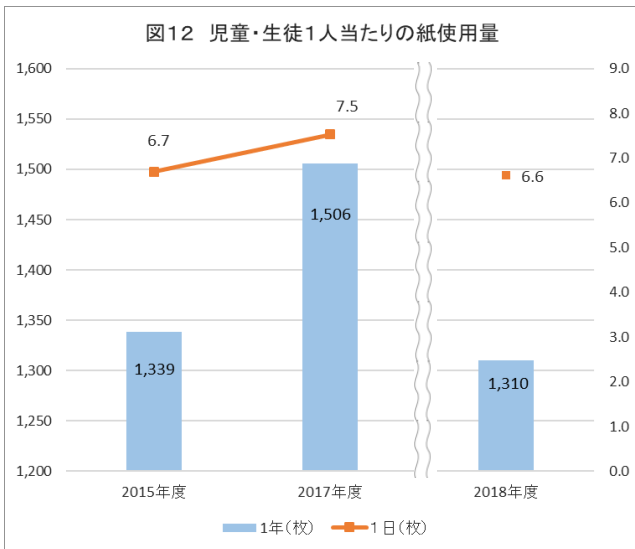
市役所全体の紙購入量については以下のとおりです。2018年度実績から集計手法の変更(財務会計システム更改による)に伴い、市役所全体で単価契約をしている一般的なコピー用紙(A3、A4、B4、B5)のみを集計対象としています。※枚数はA4換算。これまで集計対象としていた色紙やコート紙等、コピー用紙以外のは集計対象外。



紙購入量(枚)

	2015年度	2018年度	
	購入量	購入量	2015年度比
小中学校除く	35,280,451	32,484,065	-7.9%
小中学校	45,476,441	43,036,874	-5.4%
合計	80,756,892	75,520,939	-6.5%

2018年度の紙購入量は、小中学校では43,036,874枚、小中学校以外では32,484,065枚でした。これは、小中学校では児童・生徒1人あたり1日6.6枚^{※1}、小中学校以外では職員1人あたり1日44枚^{※2}に相当します。



※1 小中学校 児童・生徒数（2018年度末時点）32,844人 登校日200日とする。

※2 小中学校以外 職員数（2018年度末時点）3,076人 勤務日数240日とする。

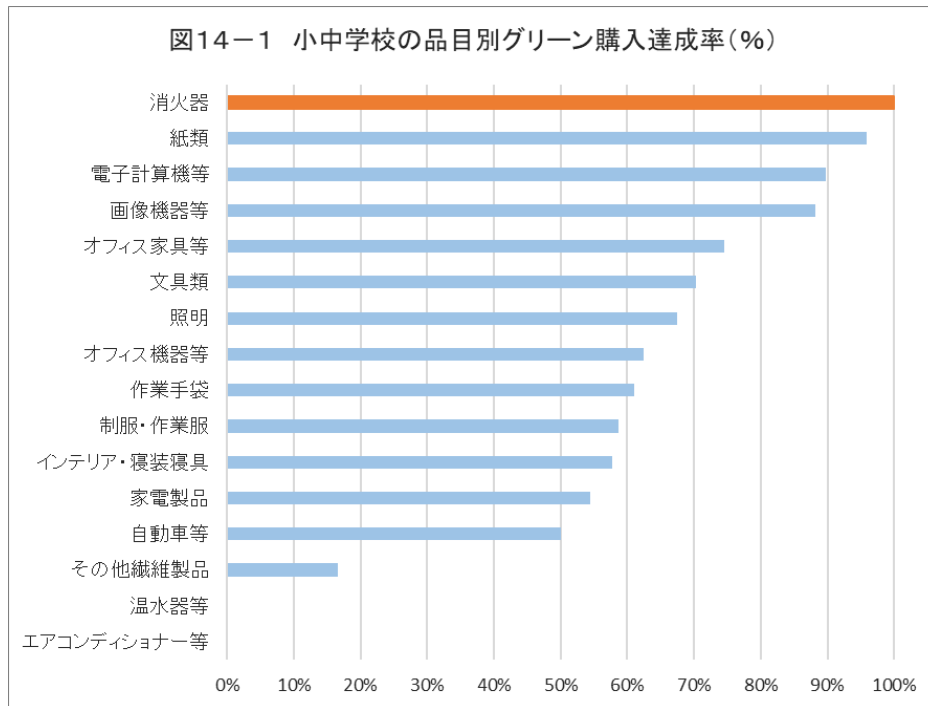
（3）グリーン購入達成率 評価点：2

2018年度におけるグリーン購入達成率は83.5%になりました。町田市では2018年度に新システムを導入し、集計単位が数量から契約件数に変更となりました。このため、2017年度実績との経年比較は行いません。また、システム非導入職場（小中学校）もあるため、導入職場と非導入職場は別々に集計及び分析を行います。

小中学校、小中学校以外のグリーン購入達成率に関する状況は、次ページのとおりです。

2018 年度における小中学校のグリーン購入達成率は 79.9%です。

品目別のグリーン購入達成率は以下のとおりです。



グリーン購入達成率が低い 3 品目の理由・状況について

エアコンディショナー等

グリーン購入達成率 0%

購入件数は少ないが、体育館のストーブ(大型)が故障したため、型落ちのストーブを購入したケース(価格優先)や冬場に学校の暖房設備が故障し、修繕予算・期間を検討したが、修繕をせず代替措置として価格が適当であるストーブを購入し対応したケースがあった。

温水器等

グリーン購入達成率 0%

購入件数は少ないが、ガス調理機器で、カタログ等で適合品の購入を検討していたが、価格が折り合わず、家電量販店にて一番手ごろな価格の製品を購入したケースがあった。

その他繊維製品

グリーン購入達成率 16.6%

購入件数が多くグリーン購入率が低い対象品目はブルーシート(45%)、旗(0%)、モップ(17%)であり、取引先(市内業者)では適合品を取り扱っていないという理由が最も多かった。

小中学校における特徴的な品目と状況について

電球形状のランプ

グリーン購入達成率 12%

この対象品目は主に体育館で使われる電球(豆電球や水銀灯)であり、適合品を取り扱っている取引先が少なく、カタログや市内事業者ではほとんどなかった。また対象外のものを非適合としているケースも見られた。

ゴム印

グリーン購入達成率 49%

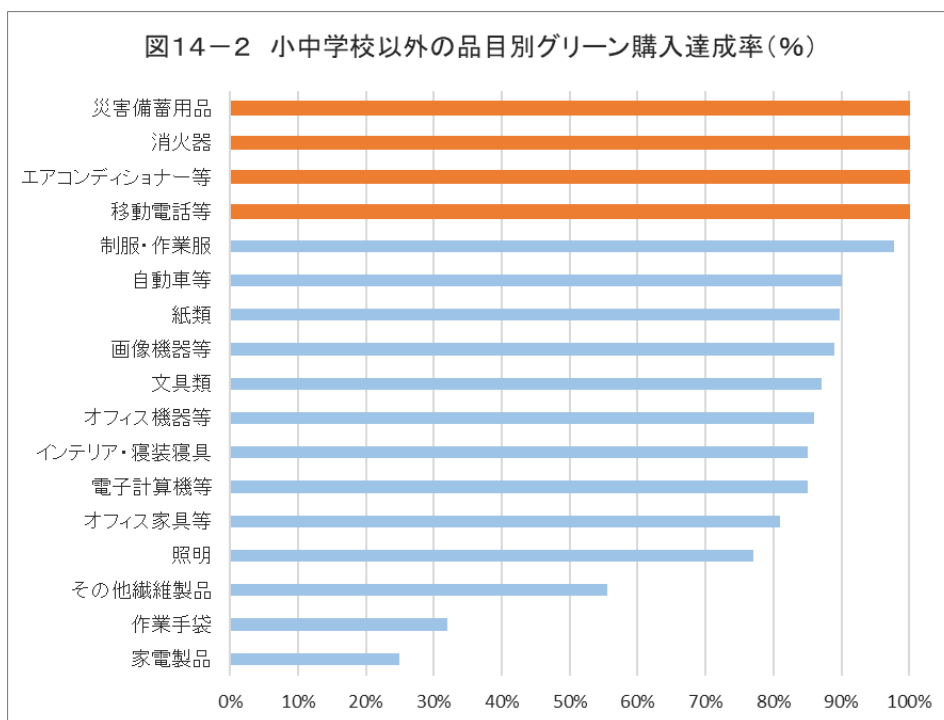
新入生の入学に際して各小中学校全 62 校(小学校 42 校、中学校 20 校)で 1 万個を超える量を購入している。学校により品質の違うゴム印を使用していることがわかった。また品質によっては取引先、カタログ等で適合品を取り扱っていないケースも多く、グリーン購入率は 49%となっている。

グラウンド用白線

グリーン購入達成率 53%

市内には適合品を扱う業者もいたが、取引先の業者は各校で異なり、非適合品を購入しているケースが見られた。

2018 年度における小中学校以外のグリーン購入達成率は 87.0%です。
品目別のグリーン購入達成率は以下のとおりです。



グリーン購入達成率が低い 3 品目の理由・状況について

家電製品

グリーン購入達成率 25%

品目全体の購入件数は少ないが、電子レンジ(50%)、冷蔵庫等(0%)を購入しており、家電製品ということで高額のものが多く、価格面を重視し選択したとのことであった。

作業手袋

グリーン購入達成率 32%

ゴムや石油製品で作られている作業用手袋は本来対象外であるが、適否の確認の方法が分からず、「非適合:品質優先」や「非適合:その他」として購入しているケースが多くみられた。

その他繊維製品

グリーン購入達成率 55.6%

旗(50%)、幕(50%)に関しては取引先で適合品を取り扱っていなかったケースがあり、のぼり(0%)に関しては品質を優先した結果非適合品となったケースがあった。ブルーシート、モップに関してはグリーン購入率 100%であった。

適合品を購入しなかった理由と理由ごとの購入件数上位 3 品目について

※2018 年度に新システムを導入したことで、適合品ではないものを購入するときには、非適合の理由を選択する仕組みとなりました。非適合の理由ごとの購入件数が多い 3 品目は以下のとおりです。

	価格優先	品質優先	その他
1	ゴム印	ボールペン	ゴム印
2	粘着テープ(布粘着)	付箋紙	ボールペン
3	ファイル	コピー用紙	マーキングペン

その他を選択した理由について調査を行った結果、取引先、カタログで適合品を取り扱っていなかったケースが最も多く、次いで、替芯(替インク)等対象外である製品について、誤って非適合を選択しているケースが多かった。さらに用途にあったものを購入したため非適合であったが、どの理由を選択すべきか分からず、その他を選択したケースも多く見られた(この場合は本来、品質優先を選択)。

(4) エコオフィス活動

① 共通の取り組み 評価点：4

各職場で行う省エネ・省資源の取り組みの内、全職場が共通して実施する取り組みの状況です。環境推進員が評価した結果を全庁の平均（5点満点）で示します。

項目		取り組みの例	全庁評価
省エネルギー	空調の適正使用	適正な温度設定を行い、使用していない部屋の空調は停止する	4.7
	照明の適正使用	不要な照明はこまめに消す	4.7
	事務機器の適正使用	長時間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜く、手元スイッチをオフにする。省エネモードの選択ができる場合は、省エネモードの設定をする	3.9
	公用車の適正使用	エコドライブを心掛ける。また、近距離移動時はできるだけ徒歩または自転車を利用する	4.4
	給湯の適正使用	給湯器を有効利用し、電気ポットは使用しない	4.0
省資源	紙使用量の削減	1 印刷可否の精査、電子会議システム等の電子データの活用出力する際は、2in1・両面印刷等の機能を利用し件数を削減する	4.0
		2 裏紙の有効利用	4.3
		3 分別を徹底し、資源化を図る	4.8
	ごみの減量	1 使い捨て製品の使用や購入は控える	4.5
		2 くるくるコーナーの活用など不要な物品はお互いに融通し、有効利用を図る	3.5
		3 分別を徹底し、資源化を図る	4.7
その他	グリーン購入	グリーン購入のガイドラインに適合するものを優先的に購入する	4.5

評価の高かった項目は、空調・照明・紙使用量の削減（分別の徹底、資源化）やごみの減量（分別の徹底、資源化）でした。

取り組みを行う際に、以下のような工夫が見られました。

項目		取り組みの工夫
省エネルギー	空調の適正利用	・中庭に打ち水をしたり、ひさしをつけることで、冷房効率を高めた。 ・加湿器を利用することで湿度を高め、暖房の効果が高まるようにした。
	全般	・朝礼及び職員会議等の場において、光熱水費の具体的なデータ等を明示して、教職員に対し省エネルギーの意識付けをした。
省資源	紙使用量の削減	・課内及び係内の連絡調整事項は電子掲示板や共有サーバを使用し、極力紙資料を作成しないことを継続実行できた。 ・毎月使用実績をグラフ化したことにより削減意識を高めることができた。 ・コピー機のスキナー機能を活用し、不要なコピーを抑制した。 ・使用済み封筒を交換使用封筒とし再利用した。
	ごみの減量	・月1回行われる地域センター連絡調整会議にて不要な物品を各センターに紹介するなどして、有効利用を図った。 ・職員室内のごみ箱を小さくすることで、職員に対しごみを出さない工夫、意識改革を行っている。（学校での取り組み）

		<ul style="list-style-type: none"> ・トイレトペーパーの芯がごみとなったため、芯なしに変更した。 ・施設建替えにより生じた不要物品については、くるくるコーナーだけでなく全庁掲示板等も活用したため、相当量をリサイクルにまわすことができ、廃棄処分量も抑えられた。 ・雑草や落ち葉を腐葉土化して再資源化したほか、乾燥させることでごみの減量を図った。
--	--	---

一方、評価の低かった項目は、事務機器、給湯、ごみの減量（不要な物品の有効利用）でした。取り組みを行う上で以下のような以下の要因・課題が挙げられました。

項目		低評価の要因・取り組みの課題
省エネルギー	空調の適正使用	<ul style="list-style-type: none"> ・猛暑のため、貸出施設利用者に水分補給を促すチラシを配布するなどして、熱中症対策とともに空調の適正な温度調整に努めるも、電気使用量は前年を上回ってしまった。 ・空調が古いタイプのため、細かい温度設定ができない。2018年度は特に気温が高く、熱中症防止のためにも空調を多く使用せざるを得なかった。 ・猛暑で空調の使用が激しく、こまめに消すことが徹底できていなかった。 ・加湿器をつけっぱなしにしてしまうこともあった。
	照明の適正使用	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに消灯することが徹底できなかった。 ・階段の電気を消し忘れることがたまにあったため、後期は改善していきたい。
省資源	紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・複合機からの印刷使用枚数が、対前年度で若干増加(105%)してしまった。
	ごみの減量	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別が不十分であり、特に教室での分別の啓発をしていきたい。(学校での取り組み)

② 施設を管理する部署の取り組み 評価点：4

各職場で行う省エネ・省資源の取り組みの内、施設を管理する部署が実施する設備等の適正管理（定期点検及び日常運用）の状況です。環境推進員からの報告に基づき、全庁の取り組みの実施率を示します。

取り組み内容		実施率
設備等の適正管理	定期点検	94.0%
	日常運用	90.8%

「定期点検」において実施率の高かった項目は、ランプの定期的な清掃・交換、空調フィルターの清掃・点検、空調運転範囲の意識化による無駄の防止でした。一方、実施率が低かった項目は、照明スイッチへの点灯範囲の表示でした。

「日常運用」において実施率の高かった項目は、不在時の照明の消灯、冷暖房温度の適正な設定、空室・不在時の空調停止でした。一方、実施率が低かった項目は、昼休み時の照明消灯の実施、採光を利用した消灯の実施でした。

各部署の活動実施状況は、別表2のとおりです。

別表1 各部における共通の取り組み状況

エコオフィス活動のうち、全職場が共通して実施する取り組みの状況です。各職場の環境推進員が評価した結果を部ごとの平均（5点満点）で示します。

	省エネルギー					省資源						グリーン購入	平均
	空調	照明	事務機器	公用車	給湯	紙使用量 reduce	紙使用量 reuse	紙使用量 recycle	ごみの減量 1	ごみの減量 2	ごみの減量 3		
政策経営部	4.2	3.8	3.0	4.2	<u>5.0</u>	3.8	3.8	4.6	4.6	4.2	4.6	<u>5.0</u>	4.2
総務部	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	4.3	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	4.3	<u>5.0</u>	4.7	3.7	<u>5.0</u>	4.7	4.7
財務部	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	4.1	4.7	<u>5.0</u>	4.4	4.4	<u>5.0</u>	4.4	3.9	4.4	4.1	4.5
防災安全部	4.0	4.0	4.0	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	4.0	4.0	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	3.0	<u>5.0</u>	4.0	4.3
市民部	4.7	4.7	4.3	4.3	3.9	4.3	4.6	4.9	4.7	3.8	4.9	4.7	4.5
文化スポーツ振興部	4.6	<u>5.0</u>	3.8	<u>5.0</u>	3.4	4.6	4.6	<u>5.0</u>	4.6	4.2	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	4.6
地域福祉部	3.8	4.2	4.2	4.6	3.4	3.8	<u>5.0</u>	4.6	<u>5.0</u>	4.2	4.6	<u>5.0</u>	4.4
いきいき生活部	4.6	4.8	4.1	3.9	3.2	4.3	<u>5.0</u>	4.8	4.8	4.3	<u>5.0</u>	4.8	4.5
保健所	4.7	<u>5.0</u>	3.3	4.4	4.1	4.1	4.4	4.7	4.1	3.0	4.4	3.6	4.2
子ども生活部	4.8	4.8	4.1	4.7	3.6	4.0	4.6	4.7	3.6	3.7	4.7	4.2	4.3
経済観光部	<u>5.0</u>	4.3	3.0	4.3	<u>5.0</u>	3.7	3.0	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.9
環境資源部	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	3.0	4.3	3.7	4.3	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	4.0	3.0	<u>5.0</u>	4.3	4.3
道路部	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	3.5	4.0	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	4.0	<u>5.0</u>	4.0	4.6
都市づくり部	4.7	4.7	3.9	4.4	4.1	4.1	3.6	4.7	4.4	3.9	4.1	4.4	4.3
下水道部	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	4.6	4.6	3.4	3.4	4.6	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	3.0	4.6	4.2	4.4
会計課	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	3.0	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	3.0	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	4.7
市民病院	4.5	4.5	3.0	<u>5.0</u>	2.5	3.0	3.5	4.0	4.0	3.5	4.0	4.0	3.8
議会事務局	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	3.0	<u>5.0</u>	3.0	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	1.0	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	4.3
選挙管理委員会事務局	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	3.0	3.0	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	3.0	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	4.5
監査事務局	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	1.0	3.0	<u>5.0</u>	3.0	3.0	<u>5.0</u>	<u>5.0</u>	4.2
学校教育部	<u>5.0</u>	4.7	3.3	4.0	4.3	4.7	4.3	<u>5.0</u>	4.7	4.3	4.7	4.7	4.5
小中学校	4.1	4.1	3.4	2.4	2.0	3.7	4.7	4.5	4.0	3.4	4.3	4.2	3.7
生涯学習部	4.8	4.7	3.5	3.8	1.7	3.3	4.7	<u>5.0</u>	4.2	3.5	4.7	4.3	4.0
全庁	4.7	4.7	3.9	4.4	4.0	4.0	4.3	4.8	4.5	3.5	4.7	4.5	4.3

 …5.0  …3.0未満

項目	取り組みの例	
省エネルギー	空調の適正使用	適正な温度設定を行い、使用していない部屋の空調は停止する
	照明の適正使用	不要な照明はこまめに消す
	事務機器の適正使用	長時間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜く、手元スイッチをオフにする。省エネモードの選択ができる場合は、省エネモードの設定をする
	公用車の適正使用	エコドライブを心掛ける。また、近距離移動時はできるだけ徒歩または自転車を利用する
	給湯の適正使用	給湯器を有効利用し、電気ポットは使用しない
省資源	紙使用量の削減	1 印刷要否の精査、電子会議システム等の電子データの活用出力する際は、2in1・両面印刷等の機能を利用し件数を削減する
		2 裏紙の有効利用
		3 分別を徹底し、資源化を図る
	ごみの減量	1 使い捨て製品の使用や購入は控える
		2 くるくるコーナーの活用など不要な物品はお互いに融通し、有効利用を図る
		3 分別を徹底し、資源化を図る
その他	グリーン購入のガイドラインに適合するものを優先的に購入する	

別表2 施設を管理する部署の取り組み状況（定期点検、日常運用）

エコオフィス活動のうち、施設を管理する部署が実施する設備等の適正管理（定期点検及び日常運用）の状況です。市が所有する施設の内、エネルギー使用量が比較的大きい施設について、実施状況を、○：実施した（または実施済）×：未実施、-：該当なし（設備なし）で示しています。
 ※基準年度（2015年度）のエネルギー使用量が原油換算で30kl以上の施設（指定管理施設は除く）

【市長部局】

所属・施設	定期点検										日常運用								施設改修・設備更新	
	熱源					給湯	照明		空調			給湯	照明			空調				動力
	冷温水出口温度の適正化	運転圧力の適正化	プロシ量の適正化	空気比の適正化	ポンプの流量、圧力の適正化	給湯温度・循環水量の適正化	ランプの定期的な清掃・交換	照明スイッチに点灯範囲を表示	空調フィルターの清掃・点検	空調運転範囲の意識化による無駄の防止	給湯器の不要時停止	昼休み時の照明消灯の実施	採光を利用した消灯の実施	不在時の照明の消灯	冷暖房温度の適正な設定	空室・不在時の空調停止	中間期の外気冷房実施	外気導入量の適正化		エレベーター、エスカレーターの不要時停止
財務部																				
市有財産活用課	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
市民部																				
市民フォーラム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無
木曾山崎コミュニティセンター	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	有
忠生市民センター	-	-	-	-	-	○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	無	
南市民センター	○	○	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	有	
なるせ駅前市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
鶴川市民センター	-	-	-	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	無	
堺市民センター	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	無	
小山市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	無	
文化スポーツ振興部																				
博物館	-	-	-	-	-	○	×	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	-	無	
国際版画美術館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	
保健所																				
健康福祉会館	-	-	-	-	-	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	-	○	無	
子ども生活部																				
町田市青少年施設ひなた村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	有	
子どもセンターつるっこ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	有	
町田市子ども発達センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	×	無		
大地沢青少年センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	○	○	無		
環境資源部																				
町田リサイクル文化センター	-	-	-	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	無	
下水道部																				
成瀬クリーンセンター	○	○	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
鶴見川クリーンセンター	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
市民病院																				
市民病院	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	

【教育委員会】

所属・施設	定期点検										日常運用								施設改修・設備更新		
	熱源					給湯	照明		空調			給湯	照明			空調				動力	
	冷温水 出口温度の適 正化	運転 圧力の適正化	フロ ー量の適正化	空 気比の適正化	ポン プの流量、圧力 の適正化	給湯 温度・循環水 量の適正化	ラン プの定期的な清 掃・交換	照 明ス イッ チに 点灯 範囲 を表 示	空 調フ ィル ター の清 掃・点 検	空 調運 転範 囲の 意識 化に よる 無駄 の防 止	給湯 器の 不要 時停 止	昼 休 み 時 の 照 明 消 灯 の 実 施	採 光 を 利 用 し た 消 灯 の 実 施	不 在 時 の 照 明 の 消 灯	冷 暖 房 温 度 の 適 正 な 設 定	空 室 ・ 不 在 時 の 空 調 停 止	中 間 期 の 外 気 冷 房 実 施	外 気 導 入 量 の 適 正 化		エレ ベ ー ター 、 エ ス カ レ ー ター の 不 要 時 停 止	
学校教育部																					
教育センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無
小中学校																					
町田第一小学校	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	×	-	○	○	○	○	-	×	無	
町田第二小学校	-	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	無	
町田第三小学校	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無
町田第四小学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無
町田第五小学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	-	無	
町田第六小学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	無	
南大谷小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	無	
藤の台小学校	-	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	無	
本町田東小学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	-	無	
本町田小学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	無	
南第一小学校	-	-	-	-	-	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	○	-	○	無	
南第二小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
南第三小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	無	
南第四小学校	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-	無	
つくし野小学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	有	
小川小学校	-	-	-	-	-	-	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	-	有	
成瀬台小学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	-	有	
鶴間小学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	-	無	
高ヶ坂小学校	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	○	×	○	×	○	○	-	無	
成瀬中央小学校	-	-	-	-	-	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	有	
南成瀬小学校	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	無	
南つくし野小学校	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	無	
鶴川第一小学校	-	-	-	-	-	○	-	×	○	○	○	×	○	○	○	○	-	-	○	無	
鶴川第二小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
鶴川第三小学校	-	-	-	-	-	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	-	無	
鶴川第四小学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	有	
金井小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有	
大蔵小学校	-	-	-	-	-	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無
三輪小学校	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	有	
忠生小学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	○	無	
小山田小学校	-	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	無	
忠生第三小学校	-	-	-	-	-	-	×	×	○	○	-	○	×	○	○	○	-	-	-	無	
山崎小学校	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-	有	

所属・施設	定期点検										日常運用										施設改修・設備更新
	熱源					給湯	照明		空調			給湯	照明			空調			動力		
	冷温水出口温度の適正化	運転圧力の適正化	ブロー量の適正化	空気比の適正化	ポンプの流量・圧力の適正化	給湯温度・循環水量の適正化	ランプの定期的な清掃・交換	照明スイッチに点灯範囲を表示	空調フィルターの清掃・点検	空調運転範囲の意識化による無駄の防止	給湯器の不要時停止	昼休み時の照明消灯の実施	探光を利用した消灯の実施	不在時の照明の消灯	冷暖房温度の適正な設定	空室・不在時の空調停止	中間期の外気冷房実施	外気導入量の適正化	エレベーター、エスカレーター等の不要時停止		
小山田南小学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有	
木曾境川小学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	無	
七国山小学校	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	
図師小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	
小山小学校	-	-	-	-	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	無	
小山ヶ丘小学校	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	
小山中央小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	無	
相原小学校	-	-	-	-	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	無	
小中一貫ゆくのき学園大戸小学校・武蔵岡中学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有	
町田第一中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	
町田第二中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	無	
町田第三中学校	-	-	-	-	-	-	○	×	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-	無	
南大谷中学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	無	
南中学校	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	無	
つくし野中学校	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	×	×	○	○	○	○	○	○	有	
成瀬台中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有	
南成瀬中学校	-	-	-	-	-	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	有	
鶴川中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	有	
鶴川第二中学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	無	
薬師中学校	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	無	
真光寺中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	有	
金井中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	無	
忠生中学校	-	-	-	-	-	-	○	×	○	○	-	-	○	○	○	○	○	-	-	無	
山崎中学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	-	無	
木曾中学校	-	-	-	-	-	-	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	-	無	
小山田中学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	-	無	
小山中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	
塚中学校	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	無	
生涯学習部																					
生涯学習センター	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	×	-	有	
中央図書館	○	○	○	○	○	-	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	有	
さるびあ図書館	○	-	-	-	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○	-	無	
鶴川駅前図書館	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	×	○	○	○	×	-	-	無	
金森図書館	-	-	-	-	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有	
町田市民文学館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	×	無	